

- 23) 市川佳弥, 丹原 惇, 寺田愛希, 宮田昌幸, 若槻華子, 児玉泰光, 小林正治, 齋藤 功: 片側性唇顎口蓋裂患者の顎顔面形態に対する術前顎矯正治療の影響—5歳時における側面セファログラム分析—。第47回日本口蓋裂学会総会・学術総会, 東京, 2023年5月25日~26日, 日口蓋誌 48(2):168 頁, 2023.
- 24) 寺田愛希, 市川佳弥, 丹原 惇, 宮田昌幸, 若槻華子, 児玉泰光, 小林正治, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院においてPNAM治療を行った片側性唇顎口蓋裂児の治療効果に影響する因子の検討。第47回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2023年5月25日~26日, 日口蓋誌 48(2):169 頁, 2023.

【受賞】

- 1) 大川 加奈子, 大川 純平, 丹原 惇, 高橋 功次朗, 堀 一浩, 長崎 司, 福井忠雄, 小野高裕, 齋藤 功: 嚥下時の舌圧発現様相および顎顔面筋群筋活動と口蓋形態との関係性。第82回日本矯正歯科学会学術大会 優秀演題賞, 2023年11月1日~11月3日.
- 2) 山田 貴大, 丹原 惇, 西山 秀昌, 小林 正治, 齋藤 功: 下顎偏位を伴う骨格性下顎前突症の顎矯正手術後における顎関節形態と顔面形態の関連。第82回日本矯正歯科学会学術大会 優秀演題賞, 2023年11月1日~11月3日.
- 3) 三村俊平, 大川加奈子, 深町直哉, 長崎 司, 堀 一浩, 大川純平, 竹山雅規, 小野高裕, 齋藤 功: ウェアラブルデバイスを用いた骨格性下顎前突症患者の性別による咀嚼行動の違い。第33回日本顎変形症学会総会・学術大会 優秀ポスター賞, 2023年6月8~6月9日.

【その他】

- 1) 齋藤 功, 友成 博: 矯正歯科専門医(仮称)。令和5年度厚生労働省委託事業「歯科医療の専門性に関する協議・検証事業報告書」令和6年3月、日本歯科専門医機構.
- 2) 齋藤 功: 教授職として19年の歩みと日本矯正歯科学会の今。東京医科歯科大学 顎顔面矯正学分野同門会 講演会、2024年1月25日、東京.
- 3) 齋藤 功: 顎変形症に対する臨床と研究。2023年度鹿児島大学大学院特別講義(9:00~10:30; リモート講義)、2023年7月24日実施.

- 4) 三村俊平: ウェアラブルデバイスを用いた骨格性下顎前突症患者および個性正常咬合患者の咀嚼行動の比較検討。新潟歯学会雑誌 53(1):39 頁, 2023.

摂食嚥下リハビリテーション学分野

【著書】

- 1) 井上 誠: 咀嚼と嚥下の関係。最新言語聴覚講座 摂食嚥下障害, 医歯薬出版株式会社.
- 2) 井上 誠: 口腔機能低下症と摂食嚥下障害。今日の治療指針はこう治療している 2024 (福井次矢, 高木 誠, 小室一成総編集), 1655-1656 頁, 2024.
- 3) 井上 誠: 5. 摂食嚥下リハビリテーション。脳神経疾患最新の治療 2024-2026 (北川一夫, 青木正志, 小林俊輔編), 332-335 頁, 株式会社南江堂, 東京, 2023.
- 4) 井上 誠: 第4章災害食の栄養・機能 口腔ケアと誤嚥性肺炎。災害食の事典 (一般社団法人 日本災害食学会監修), 株式会社朝倉書店, 86-87 頁, 東京, 2023.

【論文】

- 1) Akira Okubo, Takanori Tsujimura, Rumi Ueha, Taku Suzuki, Yuhei Tsutsui, Yuta Nakajima, Nobuaki Saka, Anna Sasa, Eri Takei, Jin Magara, Makoto Inoue: Chewing well modulates pharyngeal bolus transit during swallowing in healthy participants. Dysphagia, in press.
- 2) Jin Magara, Reiko Ita, Yuhei Tsutsui, Haruka Sakai, Mengjie Zhang, Makoto Inoue: A case of dysphagia rehabilitation in the chronic stage of lateral medullary syndrome. Dysphagia, in press, 2024.
- 3) Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Nobuaki Saka, Satomi Kawada, Nozomi Dewa, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Short-term and long-term effects of unilateral external carotid artery ligation on orofacial functions in rats. Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol, 1;326(3):G318-G329, doi: 10.1152/ajpgi.00226.2023,2024.3.
- 4) Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Nobuaki Saka, Satomi Kawada, Nozomi Dewa, Taku Suzuki, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Modulation of reflex responses of the anterior and posterior bellies of the digastric muscle in freely moving rats. J Oral Rehabil, Online ahead of print, doi: 10.1111/joor.13537. 2024.
- 5) Yuta Nakajima, Takanori Tsujimura, Kojun Tsuji, Jin Magara, Makoto Inoue: Continuous electrical stimulation of superior laryngeal nerve inhibits initiation

- of swallowing in anesthetized rats. *Neurosci Lett*, 825:137672, doi: 10.1016/j.neulet.2024.137672. 2024.3.
- 6) Reiko Ita, Jin Magara, Yuto Ochiai, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue : Use of suction electrodes for measurement of intrinsic tongue muscular endurance during lingual pressure generation. *J Oral Rehabil*, 51(3):566-573, doi: 10.1111/joor.13612. 2024.3.
 - 7) Taku Suzuki, Haruka Hino, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Kayoko Ito, Makoto Inoue: Effects of head and neck alignment and pharyngeal anatomy on epiglottic inversion during swallowing in dysphagic patients . *Dysphagia*, 38(6):1519-1527, doi: 10.1007/s00455-023-10579-w. 2023.12.
 - 8) Yuta Nakajima, Takanori Tsujimura, Yuhei Tsutsui, Titi Chotirungsan, Satomi Kawada, Nozomi Dewa, Jin Magara, Makoto Inoue: Atropine facilitates water-evoked swallows via central muscarinic receptors in anesthetized rats. *Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol*, 325(2):G109-G121. doi: 10.1152/ajpgi.00039. 2023.8.
 - 9) Maaya Takeda, Yutaka Watanabe, Kenshu Taira, Kazuhito Miura, Yuki Ohara, Masanori Iwasaki, Kayoko Ito, Junko Nakajima, Yasuyuki Iwasa, Masataka Itoda, Yasuhiro Nishi, Yoshihiko Watanabe, Masako Kishima, Hirohiko Hirano, Maki Shirobe, Shunsuke Minakuchi, Mitsuyoshi Yoshida, Yutaka Yamazaki : Association between Death or Hospitalization and Observable Variables of Eating and Swallowing Function among Elderly Residents in Long-Term Care Facilities: A Multicenter Prospective Cohort Study. *Healthcare (Basel)*, 22;11(13):1827, doi:10.3390/healthcare11131827. 2023.6.
 - 10) 菊池裕子, 坂井さゆり, 横野知江, 井上 誠, 小川祐司, 小山 諭: 口腔アセスメントシート The Oral Assessment Tool for the Elderly (OATE) を用いた看護師による高齢者口腔アセスメントの信頼性. 妥当性の検討. 北関東医学.
 - 11) 富田洋介, 鈴木善貴, 田中佑人, 真柄 仁: 顎口腔機能と姿勢・運動制御との関連性: 歯科と理学療法との協働によるエビデンス創出に向けて. 日顎口腔機能会誌.
 - 12) Kayoko Ito, Yuto Ochiai, Hirokazu Ashiga, Hirokazu Hayashi, Tomoko Iizumi, Taku Suzuki, Noboru Michimi, Tetsuo Hanagata, Sirima Kulvanich, Kouta Nagoya, Masahiro Watanabe, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue : Effect of COVID-19-related interruption of visiting dental services on pneumonia in nursing home residents. *新潟歯学会誌*, 53(2):21-28, 2023.
 - 13) 井上 誠: 摂食嚥下障害における口腔機能の重要性. *全国大学歯科衛生士教育協議会雑誌*, 12:3-6, 2023.
- 【商業誌】**
- 1) 伊藤加代子, 井上 誠: 唾液量に男女差はあるのでしょうか?. *歯科衛生士*, 47:23, 2023.5.
 - 2) 伊藤加代子, 井上 誠: 更年期に起こりやすい口腔の症状. *歯科衛生士*, 47:41-42, 2023.5.
- 【研究費獲得】**
- 1) 井上 誠 (研究代表者), 辻村恭憲 (分担研究者), 真柄 仁 (分担研究者), 那小屋公太 (分担研究者): モデル動物を用いた多面的アプローチによる嚥下障害の病態解明. 2022 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)), 課題番号 22KK0139, 5,900 千円, 2023.
 - 2) 井上 誠 (研究代表者), 辻村恭憲 (分担研究者), 真柄 仁 (分担研究者), 那小屋公太 (分担研究者), 吉原 翠 (分担研究者): 摂食嚥下機能に関わる前帯状皮質の役割. 2022 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 挑戦的研究(萌芽), 課題番号 22K19616, 1,800 千円, 2023.
 - 3) 井上 誠 (研究代表者), 辻村恭憲 (分担研究者), 真柄 仁 (分担研究者), 那小屋公太 (分担研究者): 脳梗塞における摂食嚥下障害の病態解明とその回復に顎口腔機能がもたらす効果. 2022 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (B), 課題番号 21H03128, 4,500 千円, 2023.
 - 4) 井上 誠 (分担研究者): 転写因子 Nrf2 の細胞保護・抗炎症作用に着目した、嚥下障害新規治療法の研究 (研究代表者 香取幸夫). 2022 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (B), 課題番号 22H03232, 600 千円, 2023.
 - 5) 井上 誠 (分担研究者), 真柄 仁 (分担研究者), 伊藤加代子 (分担研究者): 生体と食品の併行アプローチによる新たな咀嚼嚥下機能の理解 (研究代表者 小野和宏). 2022 年度文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 22K10073, 800 千円, 2023.
 - 6) 井上 誠 (分担研究者), 真柄 仁 (分担研究者): 顎・舌の運動と筋量・筋質から咀嚼機能を評価する. 令和 5 年度文部科学省科学研究費補助金 (研究代表者 渡邊賢礼). 2023 年度文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 23K09513, 150 千円, 2023.
 - 7) 井上 誠 (分担研究者), 辻村恭憲 (分担研究者): 拡散テンソル画像を応用した口腔機能改善の神経生理学的解析. 2023 年度文部科学省科学研究費補

- 助金(研究代表者 白石 成), 基盤研究(C), 課題番号 23K09291, 200 千円, 2023.
- 8) 辻村恭憲(研究代表者), 井上 誠(分担研究者), 那小屋公太(分担研究者): 嚥下障害における anatomical diagnostic protocol 基盤形成の試み. 2023 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 挑戦的研究(萌芽), 課題番号 23K18356, 1,960 千円, 2023.
 - 9) 辻村恭憲: 令和 5 年度科研費応募支援プログラム経費 600 千円, 2023.
 - 10) 真柄 仁(研究代表者), 井上 誠(分担研究者): 舌機能改善プロセスから考える感覚運動統合-アクティブラッチの探索-. 2022 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究(C), 課題番号 22K10053, 1,000 千円, 2023.
 - 11) 真柄 仁(研究分担者): 脳可塑性変化に基づく口腔リハビリテーション効果の解析. 2022 年度文部科学省科学研究費補助金研究(研究代表者 島田明子), 基盤研究(B), 課題番号 21H03284C, 151 千円, 2023.
 - 12) 真柄 仁(研究分担者): レオロジーの異なる炭酸飲料による嚥下機能への刺激効果の解明. 2023 年度文部科学省科学研究費補助金研究(研究代表者 岩森 大), 基盤研究(C), 課題番号 23K01992, 100 千円, 2023.
 - 13) 伊藤加代子(研究代表者), 井上 誠(分担研究者), 船山さおり(分担研究者): エクオールは口腔乾燥症, 味覚障害, 舌痛症の新たな治療法となりうるか?. 202 年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C), 課題番号 22K10310, 900 千円, 2023.
 - 14) 伊藤加代子(分担研究者): サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究(研究代表者 永井 徹). 2021 年度文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 21K11687, 50 千円, 2023.
 - 15) 船山さおり(研究代表者), 伊藤加代子(分担研究者), 井上 誠(分担研究者): 自発性異常味覚の苦味の正体にせまる. 令和 2 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究(C), 課題番号 20K10264, 2023.
 - 16) 那小屋公太(研究代表者): 疾患モデル動物を用いた「サルコペニアの摂食嚥下障害」の生理学的検証. 令和 3 年度文部科学省科学研究費補助金 若手研究, 課題番号 21K17034, 1,690 千円, 2023.
 - 17) 井上 誠: 油脂粉末を摂食嚥下した際に知覚する冷涼感の評価とメカニズム解明に関する共同研究(共同研究). 日清オイリオ株式会社, 1,162 千円, 2022-2023.
 - 18) 井上 誠: 摂食嚥下障害者用介護用品・食具等の開発に関する研究(共同研究). にいがた摂食嚥下障害サポート研究会, 233 千円, 2023.
 - 19) 井上 誠: 菓子の咀嚼性差の要因検証(共同研究). 亀田製菓株式会社, 900 千円, 2023.
 - 20) 井上 誠: 舌ブラシのブラシ材による除去能力の違い(共同研究). SHIKIEN 株式会社, 250 千円, 2022-2023.
 - 21) 井上 誠: オトガイ下部への筋電気刺激が摂食嚥下関連に与える影響(共同研究). 株式会社 MTG, 2,766 千円, 2023.
 - 22) 井上 誠: キレート剤を用いて製造した介護食用野菜(共同研究). 東洋食品研究所, 833 千円, 2023.
 - 23) 井上 誠: 摂食嚥下治療登録医等養成研修に関する受託事業費(受託事業). 新潟県歯科医師会, 3,180 千円, 2023.
 - 24) 井上 誠: 口腔機能低下症における口唇閉鎖機能検査(受託事業). 松風, 300 千円, 2022-2023.
 - 25) 井上 誠: 高齢者に適した食品要件を生体機能から考える(研究助成). 東洋食品研究所, 2,000 千円, 2022-2025.
 - 26) 井上 誠: 唾液分泌低下が魚肉練製品摂食にもたらす影響(研究助成). 一正蒲鉾, 384 千円, 2023.
 - 27) 真柄 仁: 咀嚼嚥下の生体記録からオーラルフレイルの気づきを促進する(助成研究). 第 10 回奨励研究助成, ロッテ財団, 3,000 千円, 2023-2025.
 - 28) 真柄 仁: 口腔機能低下症の管理実施効果を身体機能と栄養状態から評価する縦断的研究(研究助成). 令和 5 年度 8020 財団研究事業, 720 千円, 2023.
 - 29) 落合勇人(研究代表者), 真柄 仁(共同研究者), 辻村恭憲(共同研究者), 井上 誠(共同研究者): 唾液分泌低下が高齢者の摂食・嚥下運動に与える影響-高齢者向け食品の開発に向けた予備的調査-(研究助成). 公益財団法人総合健康推進財団, 800 千円, 2023.
 - 30) 板 離子(研究代表者), 井上 誠(分担研究者), 佐々木 誠(分担研究者), 杉本大輔(分担研究者), 真柄 仁(分担研究者): 舌筋活動と焦電素子呼吸シグナルの解析から読み解く嚥下と呼吸の協調機構の分析. 令和 5 年度新潟大学 U-go グラント(次世代枠), 450 千円, 2023.
 - 31) 伊藤加代子: 女性研究者開花プラン継続事業(助成金). 1,800 千円, 2023.
 - 32) 井上 誠: 摂食嚥下機能回復部における臨床研究助成(寄付金). とやの中央病院他, 1,749 千円, 2023.
 - 33) 那小屋公太: 果実酸を用いた嚥下研究に対する研究助成(寄付金). 株式会社扶桑化学工業, 1,000 千円, 2023.
 - 34) 井上 誠: クラウドファンディング障がい児童生徒

さんが、家族とともに外食を楽しむための輪を広げよう（寄付金）. 6,938 千円, 2023.

- 35) 井上 誠: 摂食嚥下リハビリ研究助成（寄付金）. 一般社団法人日本食品機械工業会, 70 千円, 2023.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Makoto Inoue: Relationship between oral function and swallowing function in patients with dysphagia. The 1st International Conference of Asian Dysphagia Society, Suwon Convention Center (Suwon, Korea), 2023.11.9-11.
- 2) 辻村恭憲, 井上 誠: 嚥下誘発における P2X 受容体の関与. 第 47 回日本嚥下医学会学術講演会, りゅーとびあ(新潟県・新潟市), 2024 年 2 月 9-10 日, 第 47 回日本嚥下医学会学術講演会抄録集 69 頁, 2024.
- 3) 井上 誠: そしゃく・嚥下障害の治療. 令和 6 年成人老年委員会全国会議「耳鼻咽喉科成人領域の福祉医療」, TKP 品川カンファレンスセンター(東京都・品川区), 2024 年 1 月 27 日.
- 4) 伊藤加代子: 老年期のシェーグレン症候群患者における口腔症状への対応. 第 31 回日本シェーグレン症候群学会学術集会, アクトシティ浜松(静岡県・浜松市), 2023 年 9 月 22-23 日.
- 5) 井上 誠: モデル動物を用いた摂食嚥下運動の観察. 歯科イノベーション・ロードマップシンポジウム, 第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 日本大学歯学部(東京都・千代田区), 2023 年 9 月 16-18 日, Journal of Oral Biosciences Supplement(2187-2333)2023 巻 Page [IRS-03](2023.09).
- 6) 河野 茜, 井上 誠: 睡眠中の嚥下. 日本睡眠学会第 45 回定期学術集会・第 30 回日本時間生物学会学術大会合同大会, パシフィコ横浜 ノース(神奈川県・横浜市), 2023 年 9 月 16 日, 日本睡眠学会定期学術集会・日本時間生物学会学術大会合同大会プログラム・抄録集 45 回・30 回 Page237(2023.09).
- 7) 井上 誠: 口腔咽頭筋の機能—咀嚼嚥下運動における口腔と咽頭の機能連関を考える—. 日本睡眠学会第 45 回定期学術集会・第 30 回日本時間生物学会学術大会合同大会, パシフィコ横浜 ノース(神奈川県・横浜市), 2023 年 9 月 16 日, 日本睡眠学会定期学術集会・日本時間生物学会学術大会合同大会プログラム・抄録集 45 回・30 回 Page215(2023.09).
- 8) 真柄 仁, 井上 誠: やってみよう! 表面筋電図記録—摂食嚥下機能の定量化—. ステップアップセミナー 1, 第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜 ノース(神奈川県・横浜市), 2023 年 9 月 2-3 日, 第 29 回日本摂食嚥

下リハビリテーション学会学術大会抄録集 160 頁, 2023.

- 9) Makoto Inoue: Recent findings about swallowing initiation and movements. 海外招待講演 3 基礎研究の最先端を知る, 第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜 ノース(神奈川県・横浜市), 2023 年 9 月 2-3 日.
- 10) 辻村恭憲, 井上 誠: 小動物を用いた嚥下神経機構の解明. 第 33 回日本老年学会総会, パシフィコ横浜(神奈川県・横浜市), 2023 年 6 月 16-18 日.

【講演・シンポジウム（その他）】

- 1) Makoto Inoue: Role of Oral Function in Swallowing. MoU Signing Ceremony & Mini Symposium, Kaohsiung Medical University, Kaohsiung, Taiwan, 2023.10.18.
- 2) 井上 誠: 高齢者における摂食嚥下障害の過去・今・未来. 令和 5 年度在宅歯科医療支援事業「基本研修」講演会, 新潟県歯科医師会館(リモート), 2024 年 2 月 28 日.
- 3) 真柄 仁: とろみと炭酸がもたらす食べる意欲への影響—おいしさと栄養と食べる楽しさを支える取組—. 第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会 ランチョンセミナー 1, りゅーとびあ(新潟県・新潟市), 2024 年 2 月 9-10 日, 第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会抄録集 85-86 頁, 2024.
- 4) 井上 誠: 機能を知って摂食嚥下障害を学ぶ. 昭和大学学士会後援セミナー, 昭和大学歯学部(東京都・品川区), 2023 年 12 月 18 日.
- 5) 井上 誠: 摂食嚥下障害児童に外食の機会を提供するために. にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 2023 年度第 2 回講演会, 新潟大学(新潟県・新潟市)/ハイブリット開催, 2023 年 12 月 16 日.
- 6) 井上 誠: 歯科がかかわる摂食嚥下障害治療と管理のこれから. 村上市岩船郡歯科医師会学術講演会, リモート, 2023 年 11 月 18 日.
- 7) 真柄 仁: 摂食嚥下障害の臨床を支える基礎研究. 第 19 回長野摂食嚥下リハビリテーション研究会 松本歯科大学(長野県・塩尻市), 2023 年 10 月 22 日.
- 8) 井上 誠: 地域における要介護高齢者の摂食嚥下障害と歯科的対応. 第 15 回山陰摂食嚥下研究会, 米子ワシントンホテルプラザ(鳥取県・米子市), 2023 年 9 月 10 日.
- 9) 落合勇人: 言語聴覚士が目指す摂食嚥下リハビリテーション: あなたのやりたいことを聴かせてください. 交流集会 2(言語聴覚士), 第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横

浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023 年 9 月 2-3 日,
第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術
大会抄録集 214 頁, 2023.

- 10) 井上 誠: 摂食嚥下のメカニズム. 明海大学・朝日
大学歯学部生涯研修部クリニカルスキルアップセ
ミナー, 2023 年 7 月 16 日.
- 11) 井上 誠: 在宅・施設入居摂食嚥下障害患者の支援
と歯科医療の可能性. 食べる支援の未来予想図～さ
あ食べよう!～NPO 法人口から食べる幸せを守る
会 第 11 回全国大会, 岡谷市テクノプラザおかや
(リモート参加), 2023 年 6 月 4 日.
- 12) 杉本大輔, 板 離子: デバイスの融合から再考する
嚥下機能～岩手大×新潟大の共同研究から見えた
“歯工連携”の可能性～(第 67 回学術大会優秀賞
受賞者企画シンポジウム). 日本顎口腔機能学会第
69 回学術大会, 日本大学松戸歯学部 (千葉県, 松戸
市), 2023 年 4 月 22-23 日, 日本顎口腔機能学会第
69 回学術大会プログラム・事前抄録集 18-19 頁,
2023.

【学会発表】

- 1) Reiko Ita, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto
Inoue: Evaluation of the effect of tongue pressure
resistance training on electromyographic properties and
corticomotor excitability in intrinsic tongue and
suprahyoid muscle area. European Society for
Swallowing Disorders 2023 13th Annual Congress,
Toulouse, France, 2023.11.30-12.2.
- 2) Yuta Nakajima, Takanori Tsujimura, Jin Magara,
Makoto Inoue: Atropine regulates initiation of
swallowing evoked by distilled water in anesthetized
rats. European Society for Swallowing Disorders
2023 13th Annual Congress, Toulouse, France,
2023.11.30-12.2.
- 3) Jin Magara, Haruka Sakai, Kouta Nagoya, Takanori
Tsujimura, Makoto Inoue; Preoperative and
postoperative outcomes in patients with dysphagia after
esophagectomy for esophageal cancer. European Society
of Swallowing Disorder, 13th annual congress, Toulouse,
France, 2023.11.29-12.2.
- 4) Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Satomi Kawada,
Nozomi Dewa, Jin Magara, Takanori Tsujimura,
Makoto Inoue: Transection of Facial Nerve's Digastric
Branch as a Model for Inducing Denervation Related
Atrophy in the Posterior Digastric Muscle of Rats.
Neuroscience 2023, Washington DC, USA,
2023.11.11-15.
- 5) Yuhei Tsutsui, Takanori Tsujimura, Kajita Piriyaprasath,
Titi Chotirungsan, Jin Magara, Keiichiro Okamoto,
Kensuke Yamamura, Makoto Inoue: Activation of motor
neurons of posterior belly of digastric muscle during
swallowing. Neuroscience 2023, Washington DC,
USA, 2023.11.11-15.
- 6) Takanori Tsujimura, Satomi Kawada, Nozomi Dewa, Jin
Magara, Makoto Inoue: Role of P2X receptor on the
initiation of swallows in anesthetized rats. The 1st
international conference of asian dysphagia society,
Suwon Convention Center, Suwon, Korea, 2023.11.9-11.
- 7) Satomi Kawada, Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui,
Midori Yoshihara, Kouta Nagoya, Jin Magara, Takanori
Tsujimura, Makoto Inoue: Effects of topical application
of potassium ion on swallowing initiation in rats. The
1st International Conference of Asian Dysphagia
Society, Suwon Convention Center, Suwon, Korea,
2023.11.9-11.
- 8) Chisato Aizawa, Jin Magara, Makoto Inoue: Potential of
the crystalline oil and fat in swallowing initiation.
The 1st International Conference of Asian Dysphagia
Society, Suwon Convention Center, Suwon, Korea,
2023.11.9-11.
- 9) Kayoko Ito, Hiroshi Iwabuchi, Seiji Nakamura, Haruka
Tohara, Shuji Toya, Kazuhiro Yamamoto, Tomohiro
Yamauchi, Shigeru Watanabe: Japanese new
classification for xerostomia. IAGG Asia/Oceania
Regional Congress 2023, Pacifico Yokohama,
Yokohama, Japan, 2023.6.12-14, IAGG2023 Abstract
Book, 953, 2023.
- 10) 川田里美, Titi Chotirungsan, 筒井雄平, 吉原
翠, 那小屋公太, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上
誠: カリウム溶液の嚥下惹起促進メカニズム. 第 47
回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, りゅ
ーとびあ 新潟市民芸術文化会館 (新潟県・新潟
市), 2024 年 2 月 9-10 日, 第 47 回日本嚥下医学会総
会ならびに学術講演会プログラム・抄録集 133 頁,
2024.
- 11) 新開瑞希, 真柄 仁, 板 離子, 落合勇人, 相澤知
里, 井上 誠, 鈴木善貴, 柴垣あかり, 松香芳三:
唾液分泌増加がもたらす固形食品摂取時の咀嚼嚥
下運動への影響. 第 47 回日本嚥下医学会総会なら
びに学術講演会, りゅーとびあ 新潟市民芸術文化
会館 (新潟県・新潟市), 2024 年 2 月 9-10 日, 第 47
回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会プログ
ラム・抄録集 123 頁, 2024.
- 12) 中嶋優太, 辻村恭憲, 真柄 仁, 井上 誠: 水嚥
下誘発に関わるムスカリン受容体のメカニズム. 第
47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, り

- ゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館（新潟県・新潟市），2024 年 2 月 9-10 日，第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会プログラム・抄録集 133 頁，2024.
- 13) 鈴木 拓，秋本哲男，長谷川 博，真柄 仁，辻村恭憲，井上 誠：中咽頭腔の狭小に起因した食塊の咽頭流入経路の障害が上下総義歯装着により改善を認めた一例．第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会，りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館（新潟県・新潟市），2024 年 2 月 9-10 日，第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会プログラム・抄録集 151 頁，2024.
 - 14) 落合勇人，板 離子，小貫和佳奈，前川和也，相澤知里，真柄 仁，辻村恭憲，井上 誠：唾液分泌低下及び油脂添加がパンの咀嚼運動と食塊特性の経時的変化にもたらす影響．第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会，りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館（新潟県・新潟市），2024 年 2 月 9-10 日，第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会プログラム・抄録集 130 頁，2024.
 - 15) 伊藤加代子，辻村恭憲，真柄 仁，井上 誠：にいがた摂食嚥下障害サポート研究会による食支援の取り組みについて．第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会，りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館（新潟県・新潟市），2024 年 2 月 9-10 日，第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会プログラム・抄録集 150 頁，2024.
 - 16) 小貫和佳奈，真柄 仁，坂井 遥，井上 誠：退院後に誤嚥性肺炎を繰り返した傍腫瘍性神経症候群患者に対し，胃瘻と経口摂取の併用が有効であった一例．第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会，りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館（新潟県・新潟市），2024 年 2 月 9-10 日，第 47 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会プログラム・抄録集 160 頁，2024.
 - 17) 鈴木 拓，秋本哲男，長谷川 博，真柄 仁，辻村恭憲，井上 誠：舌根沈下に起因すると思われる食塊の咽頭流入経路障害が上下総義歯の装着により改善を認めた一例．第 76 回東北地区歯科医学会，福島県歯科医師会館（福島県・福島市），2023 年 11 月 25-26 日，第 76 回東北地区歯科医学会プログラム 40 頁，2023.
 - 18) 伊藤加代子，古野芳毅，辻村恭憲，真柄 仁，井上 誠：摂食嚥下障害児に外食を楽しんでもらう「ばりあふりーお食事会」の紹介．第 24 回新潟栄養・食生活学会，新潟テルサ（新潟県・新潟市），2023 年 12 月 9 日，講演集 5 頁，2023.
 - 19) 板 離子，相澤知里，真柄 仁，辻村恭憲，井上 誠：反復的舌圧発揮時の筋活動様式と大脳皮質活動の評価．日本顎口腔機能学会第 70 回学術大会，北海道大学学術交流館（北海道，札幌市），2023 年 11 月 4-5 日，日本顎口腔機能学会第 70 回学術大会プログラム・事前抄録集 32-33 頁，2023.
 - 20) 杉本大輔，板 離子，佐々木 誠，真柄 仁，鈴木拓，井上 誠：ストロー摂取時の舌運動と呼吸の協調の分析．日本顎口腔機能学会第 70 回学術大会，北海道大学学術交流館（北海道，札幌市），2023 年 11 月 4-5 日，日本顎口腔機能学会第 70 回学術大会プログラム・事前抄録集 30-31 頁，2023.
 - 21) 小貫和佳奈，真柄 仁，辻村恭憲，伊藤加代子，井上 誠：口腔機能低下症の改善に関連する因子の検討．第 37 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会，兵庫県歯科医師会館（兵庫県，神戸市），2023 年 10 月 21-22 日，日本口腔リハビリテーション学会雑誌第 36 巻第 1 号 70 頁，2023.
 - 22) 板 離子，落合勇人，真柄 仁，辻村恭憲，井上 誠：舌圧発揮時の舌筋ならびに舌骨上筋群活動の経時変化．第 9 回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会，りゅーとぴあ（新潟県・新潟市），2023 年 9 月 17-18 日，第 9 回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会抄録集 17 頁，2023.
 - 23) 那小屋公太，辻村恭憲，真柄 仁，井上 誠：COPD モデルラットを用いた嚥下機能の生理学的検証．第 9 回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会，りゅーとぴあ（新潟県・新潟市），2023 年 9 月 17-18 日，第 9 回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会抄録集 21 頁，2023.
 - 24) Yuto Ochiai, Reiko Ita, Wakana Onuki, Kazuya Maekawa, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effects of hyposalivation and fat spread topping for bread on chewing behavior and bolus characteristics. 第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会，パシフィコ横浜ノース（神奈川県・横浜市），2023 年 9 月 2-3 日，第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 234 頁，2023.
 - 25) Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Satomi Kawada, Nozomi Dewa, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Digastric Branch of Facial Nerve Transection-Model for Denervation-induced post-Dig Muscle Atrophy in Rats. 第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会，パシフィコ横浜ノース（神奈川県・横浜市），2023 年 9 月 2-3 日，第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 235 頁，2023.
 - 26) Mengjie Zhang, Jin Magara, Reiko Ita, Chisato Aizawa,

- Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effect of hyposalivation on swallowing behavior in various oil materials. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023年9月2-3日, 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集236頁, 2023.
- 27) Yuta Nakajima, Takanori Tsujimura, Jin Magara, Makoto Inoue: Atropine modulates initiation of swallowing reflex evoked by distilled water in anesthetized rats. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023年9月2-3日, 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集244頁, 2023.
- 28) Satomi Kawada, Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Midori Yoshihara, Kouta Nagoya, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Topical application of potassium ion facilitates swallowing initiation in rats. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023年9月2-3日, 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集244頁, 2023.
- 29) Yuhei Tsutsui, Takanori Tsujimura, Kajita Piriyaprasath, Titi Chotirungsan, Jin Magara, Keiichiro Okamoto, Kensuke Yamamura, Makoto Inoue: Activation of possible motor neurons of posterior belly of digastric muscle during swallowing. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023年9月2-3日, 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集245頁, 2023.
- 30) 板 離子, 鈴木 拓, 吉原 翠, 落合勇人, 山田真子, 真柄 仁, 井上 誠: 舌癌術後患者に対し, 摂食嚥下機能における義歯装着の有効性について検討した一例. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023年9月2-3日, 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集291頁, 2023.
- 31) 小貫和佳奈, 真柄仁, 辻村恭憲, 伊藤加代子, 板 離子, 川田里美, 筒井雄平, 井上 誠: 歯科外来患者における口腔機能低下症の改善に関連する因子の検討. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023年9月2-3日, 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集380頁, 2023.
- 32) 伊藤加代子, 前川知樹, 坂井 遥, 井上 誠: 舌ブラシの植毛部の違いによる除去能および洗浄後のブラシ内残留細菌数. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023年9月2-3日, 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集381頁, 2023.
- 33) 落合勇人, 板 離子, 那小屋公太, 吉原 翠, 山田真子, 鈴木 拓, 井上 誠: 口底癌術後遊離皮弁再建術後に重度嚥下障害, 構音障害を呈した一例. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023年9月2-3日, 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集398頁, 2023.
- 34) 山田真子, 落合勇人, 真柄 仁, 那小屋公太, 小貫和佳奈, 坂井 遥, 辻村恭憲, 井上 誠: 当院の摂食嚥下機能回復支援チーム体制の構築. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023年9月2-3日, 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集415頁, 2023.
- 35) 石山茉佑佳, 濃野 要, 伊藤加代子, 船山さおり, 米澤大輔, 小川祐司, 葭原明弘: 地域在住超高齢期における舌圧と低栄養リスクの関連. 令和5年度新潟歯学会第1回例会, 新潟大学歯学部講堂 (新潟県・新潟市), 2023年7月8日.
- 36) 小貫和佳奈, 真柄 仁, 伊藤加代子, 辻村恭憲, 井上 誠: 口唇閉鎖力低下と口腔機能低下の関連性. 日本老年歯科医学会第34回学術大会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2023年6月16-18日, 日本老年歯科医学会第34回学術大会抄録集152頁, 2023.
- 37) 伊藤加代子, 船山さおり, 濃野 要, 金子 昇, 井上 誠: 口腔乾燥症の臨床統計および自覚症状改善に関する因子探索. 日本老年歯科医学会第34回学術大会, パシフィコ横浜 (神奈川県・横浜市), 2023年6月16-18日, 日本老年歯科医学会第34回学術大会抄録集200頁, 2023.
- 38) 板 離子, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: とりもと炭酸がもたらす溶液嚥下時の変調. 日本顎口腔機能学会第69回学術大会, 日本大学松戸歯学部 (千葉県, 松戸市), 2023年4月22-23日, 日本顎口腔機能学会第69回学術大会プログラム・事前抄録集36-37頁, 2023.

【受賞】

- 1) にいがた摂食嚥下障害サポート研究会：第1回「未来をつくる こどもまんなかアワード」内閣府特命担当大臣表彰 未来へつなぐ「応援団」部門。2023.
- 2) 相澤知里：令和5年度新潟大学博士学生支援プログラムシンポジウム フェローシップ・次世代事業報告会。「新潟大学博士デザイン」優秀研究ポスター賞。
- 3) Satomi Kawada: Effects of topical application of potassium ion on swallowing initiation in rats. The 1st international conference of asian dysphagia society, Suwon Convention Center, Korea, Poster Presentation Award.
- 4) Yuhei Tsutsui: Activation of possible motor neurons of posterior belly of digastric muscle during swallowing. The 29th Annual Meeting of the Japanese Society of Dysphagia Rehabilitation, Excellent English Presentation Award 2023.
- 5) Kayoko Ito, Hiroshi Iwabuchi, Seiji Nakamura, Haruka Tohara, Shuji Toya, Kazuhiro Yamamoto, Tomohiro Yamauchi, Shigeru Watanabe: Japanese new classification for xerostomia. IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023, Outstanding Poster Presentation Award.
- 6) 小貫和佳奈：口腔機能低下症の改善に関連する因子の検討。第37回日本口腔リハビリテーション学会学術大会，優秀口演発表賞。
- 7) 杉本大輔，板 離子，佐々木 誠，真柄 仁，鈴木 拓，井上 誠；ストロー摂取時の舌運動と呼吸の協調の分析。日本顎口腔機能学会第70回学術大会，学術大会優秀賞。
- 8) 真柄 仁：2023年度 顎口腔機能学会賞。

【その他】

- 1) 井上 誠：ゆうなび 新潟ケンジュプロジェクト，BSN，2024年3月22日。
- 2) 第47回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会，りゅーとびあ，2024年2月9-10日。
- 3) 未来へつなぐ「応援団」部門 ～内閣府特命担当大臣表彰～にいがた摂食嚥下障害サポート研究会（新潟県新潟市）。令和5年度第1回「未来をつくる こどもまんなかアワード活動事例紹介集」，P33-34。
- 4) 伊藤加代子，井上 誠：「ばりあふりーお食事会」の取り組み～摂食嚥下障害の子供と家族に外食の機会を～。新ノーマライゼーション，43(12)：4-5，2023年12月25日
- 5) 伊藤加代子：女性のライフステージに応じた口腔疾

- 患。福岡県歯科医師会機関誌「歯界時報」，2023。
- 6) 辻村恭憲：噛むこと・飲み込むこと。新潟大学公開講座，新潟大学，ときめいと（新潟県・新潟市）/ハイブリット開催，2024年1月27日。
- 7) 真柄 仁：お口の機能低下，オーラルフレイルを知ろう！令和5年度第4回新潟気軽に省エネくらぶ企画講座，新潟市亀田市民会館（新潟県・新潟市），2024年1月26日。
- 8) 伊藤加代子：教養としての「更年期障害」。1D オンラインセミナー，2024年1月18日。
- 9) にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 2023年度第2回講演会，新潟大学（新潟県・新潟市）/ハイブリット開催，2023年12月16日。
- 10) Yuta Nakajimra：Sumiko Okada Fellowship for JS DR Members；ESSD。
- 11) 辻村恭憲，前川和也：摂食嚥下スクリーニング検査。江南区口腔ケアと摂食嚥下を考える会，きらとびあ（新潟県・新潟市），2023年11月28日。
- 12) にいがた摂食嚥下サポート研究会：こどもまんなかアワード 特命担当大臣表彰を受賞。新潟日報日刊，2023年11月28日。
- 13) 井上 誠：摂食嚥下障害ある子どもと家族 一緒に外食楽しんで。新潟日報朝刊，2023年11月3日。
- 14) 井上 誠：NST News タッチ，誰もが外食を楽しめる環境を，2023年11月1日。
- 15) 井上 誠：新潟ニュース 610，摂食嚥下障害でも「家族で外食」食事会，2023年11月1日。
- 16) 井上 誠：一流フレンチ障害者家族ら堪能。朝日新聞朝刊，2023年10月23日。デジタル版 <https://www.asahi.com/articles/ASRBQ73J5RBQUOH B007.html>
- 17) 井上 誠：NST タ方ライブニュース，2023年10月22日。 <https://youtu.be/eXsK7aTP-Ds?si=6WoelrizeyBMpOlhB>
- 18) ばりあふりーお食事会。ホテルオークラ新潟（新潟県・新潟市），2023年10月22日。
- 19) 井上 誠：全ての親子にフルコースを。新潟日報夕刊，2023年10月17日。
- 20) 真柄 仁：病棟で実践する摂食嚥下障害への対応。栄養サポートチーム勉強会，WEB 開催，2023年10月16日。
- 21) 伊藤加代子：唾液と味覚の役割。新潟大学公開講座，新潟大学，Web 開催，2023年10月14日。
- 22) 井上 誠：一流ホテルでフレンチのフルコースを障害児と一緒に楽しめる食事会。朝日新聞朝刊，2023年10月3日。
- 23) 井上 誠：かんでのみ込むのが困難な子に外食を楽しむ機会を。新潟日報朝刊，2023年9月21日。

- 24) 伊藤加代子: ラインケア～職場における上司と部下のコミュニケーション～. 2023 年度 管理者メンタルヘルス研修会, 東芝テクノ株式会社, 2023 年 9 月 5 日, 14 日.
- 25) 辻村恭憲: 摂食嚥下機能のメカニズム. 令和 5 年度定歯科衛生士セミナー「摂食嚥下リハビリテーションコース」, 日本歯科衛生士会, オンデマンド配信 令和 5 年 9 月 1 日-11 月 4 日.
- 26) 井上 誠: 障害で食事困難な子供と家族に外食を. BSN ニュース, 2023 年 8 月 25 日.
- 27) 伊藤加代子: 口腔ケアの実際と食事介助の基本. 2022 年度口腔ケア研修会, 新潟県社会福祉協議会, Web 開催, 2023 年 8 月 1 日.
- 28) 相澤知里: お仕事紹介 File02 歯科医師 高校生・中学生の進路選択に役立つ医療介護栄養のお仕事まるわかり事典. P20-21, 株式会社日本医療企画北信越支社, 2023 年 7 月 7 日.
- 29) 真柄 仁: 摂食嚥下障害の臨床と基礎 ―理工学的アプローチで摂食嚥下障害患者を支援しよう!―. 理工学部機械科学コース 生体工学講義, SPERC 摂食嚥下リハビリテーション研究グループ講演会併催, 岩手大学理工学部 (岩手県・盛岡市), 2023 年 7 月 12 日.
- 30) 辻村恭憲: 口腔・摂食嚥下機能低下がもたらす弊害と改善へのアプローチ. にいがた市民大学 大学コンソーシアム連携講座, 新潟市 新潟市生涯学習センター, 2023 年 6 月 24 日.
- 31) 井上 誠: 歯科医療が直面する課題と期待. 巻頭言, 新潟市医師会報第 627 号, P1, 2023 年 6 月.
- 32) 中嶋優太: WITH コロナ×AFTER コロナの時代の私たち. 歯界展望 141(6):1255, 2023 年 6 月.
- 33) にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 2023 年度第 1 回講演会, 新潟大学 (新潟県・新潟市) /ハイブリット開催, 2023 年 5 月 27 日.
- 34) 真柄 仁: 嚥下関連筋の筋電図評価を摂食嚥下の臨床へ活かす! 2023 年度 スタディグループツナゲルド会勉強会, Zoom オンライン, 2023 年 5 月 11 日.
- 35) 井上 誠: 1 日 3 食の習慣重要 舌の鍛錬話するときの比でなく. 新潟日報夕刊, 2023 年 4 月 22 日.
- 36) 中嶋優太: 令和 5 年度新潟大学フェローシップ支援, 2023.
- 37) 川田里美: 令和 5 年度新潟大学フェローシップ支援, 2023.
- 38) 筒井雄平: 令和 5 年度新潟大学フェローシップ支援, 2023.
- 39) 板 離子: 令和 5 年度未来のライフ・イノベーションを創出するフロンランナー育成プロジェクト,

2023.

- 40) 出羽 希: 令和 5 年度未来のライフ・イノベーションを創出するフロンランナー育成プロジェクト, 2023.
- 41) 相澤知里: 令和 5 年度未来のライフ・イノベーションを創出するフロンランナー育成プロジェクト, 2023.

硬組織形態学分野

【著 書】

- 1) 大島勇人: ご機嫌な人生を送るために必要な 6 つの大切なこと. 幻冬舎, 東京, 2023 年 8 月 31 日.

【論 文】

- 1) Tsuneki M, Zhang Y: Novel applications of artificial intelligence in cancer research. Technol Cancer Res Treat. 2023 Jan-Dec;22:15330338231195025. doi: 10.1177/15330338231195025.
- 2) Ohshima H, Mishima K: Oral biosciences: The annual review 2023. J Oral Biosci 66(1): 1-4, 2024.
- 3) Ohkura N, Yoshida K, Yoshida N, Oda Y, Edanami N, Ohshima H, Takenaka S, Okiji T, Noiri Y: Prostaglandin E2-transporting pathway and its roles via EP2/EP4 in cultured human dental pulp. J Endod 49(4): 410-418, 2023.
- 4) Shin M, Matsushima A, Kajiyama H, Okamoto F, Ogata K, Oka K, Ohshima H, Bartlett JD, Okabe K: Conditional knockout of transient receptor potential melastatin 7 in the enamel epithelium: Effects on enamel formation. Eur J Oral Sci 131(2): e12920, 2023.
- 5) Kim EJ, Kim HY, Li L, Tang Q, Kim KH, Ohshima H, Jung HS: Cuspal shape alterations by Bmp4 directing cell proliferation and apoptosis. J Dent Res 102(7):825-834, 2023.
- 6) Ohshima S, Takami H, Katsumi Y, Ueki Y, Horii A, Ohshima H: Distribution patterns of infraorbital nerve branches and risk for injury. Ann Anat 250:152118, 2023.
- 7) Ikarashi A, Sano H, Tanaka M, Ohshima H: The accuracy of quantifying the degree of hard tissue calcification using an electron probe micro analyzer, micro-focus X-ray computed tomography, and tissue sectioning methods. J Oral Biosci 65(3):226-232, 2023.
- 8) Yamazaki S, Hayashi R, Mutoh N, Ohshima H, Tani-Ishii N: Effects of rheumatoid arthritis on the